

11月15日(日)

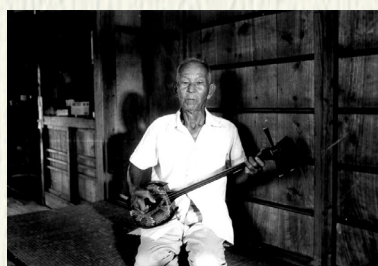
ナビゲーター 永田浩三さん(ジャーナリスト)



【東陽一監督 追悼上映】**沖縄列島**

13:00

ドキュメンタリー 1969年 90分 監督:東陽一



©東プロダクション 1969年

1968年沖縄。基地に囲まれた復帰前の日常を鋭く深くとらえた、東陽一監督初の長編記録映画。3ヶ月にわたる沖縄ロケで撮影された、基地周辺の光景、人々の演説、働く労働者や農民の姿などの様々なシーンが活写され、断片としてスクリーンに散りばめられる。半世紀の時間を経て今もなお、沖縄列島の現実が私たちの前に二重写しとなって表れる。

トークセッション



山上徹二郎さん (シグロ代表、プロデューサー)

摩文仁 mabuni

16:00

ドキュメンタリー 2025年 97分 監督:新田義貴



沖縄戦で命を落とした兵士や民間人の慰霊碑が林立する摩文仁の丘。それぞれの思いがすれ違うこの丘では、“英霊の顕彰”と“犠牲者への慰霊”が常にせめぎ合い、本土と沖縄の分断を象徴してきた。摩文仁の丘で死者の魂に祈り続ける花売りの大屋初子さんの姿を通して、沖縄戦の慰霊碑を巡り、そこに込められた人々のさまざまな思いを映し出す。



トークセッション

新田義貴監督

★チケット購入

※1作品ごとにチケットが必要です
★当日券は、定員に余裕がある場合のみ販売します。

大人 **1,000円** 当日券 **1,200円**
前売券

18歳以下・**800円** 3枚綴り **2,700円**
ハンディのある方 チケット

前売券のお求めの方法

①Peatixからご購入

<https://nerimaokinawaeigasai.peatix.com/>

②メール・FAX・FaceBook・電話でご予約いただけます。

ご予約いただいた場合は、当日会場の受付で代金と引き換えで前売券をお渡します。いずれの方法でも、◎お名前◎ご覧になる作品◎枚数◎連絡先◎18歳以下、ハンディのある方はその旨を必ずご記載ください。

① メール nerimaieigasai@yahoo.co.jp

② FAX 050-6877-5315

③ Facebook

<https://www.facebook.com/nerimaokinawaeigasai>

④ 電話・ショートメール 090-8311-6678(柏木)

facebook



公式 HP



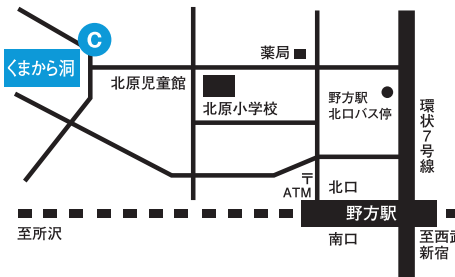
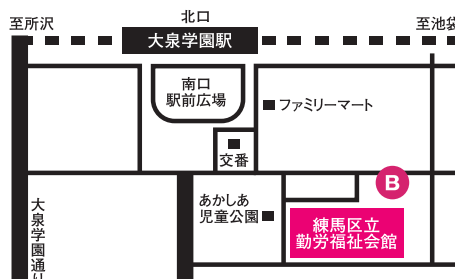
●開場は各上映の15分前です。

●やむを得ない事情によりゲストが変更・中止になる場合があります。

ねりま沖縄映画祭実行委員会 草の根市民広場(中野)

協賛◎練馬沖縄県人会

チケットは事前にご購入もしくはご予約ください



わらの沖縄 あなごの沖縄

10月12日(月・休) 練馬区役所 地下多目的会議室 **MAPA**

18:00 **ウナイ** 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう(日本語字幕付き) ゲスト 中川七海さん(Tansa 記者)

10月17日(土) 練馬区役所 地下多目的会議室 **MAPA**

【東盛あいか監督 特集上映】

17:30 **ばちらぬん** 19:00 かでいんま、我謝家に嫁いだ女たち、101回目のポー玉

19:55 トークセッション ゲスト 東盛あいか監督 ナビゲーター 真喜屋力さん

10月18日(日) 勤労福祉会館 集会室 **MAPB**

【首里劇場をめぐる物語】

17:30 琉球シネマパラダイス、首里劇場ノスタルジア 18:30 劇場が終わる時

20:00 トークセッション 長谷川亮監督 平良竜次監督/オンライン 真喜屋力監督

10月24日(土) 練馬区役所 地下多目的会議室 **MAPA**

18:00 **ウナイ** 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう(日本語字幕付き) ゲスト 平良いずみ 監督

11月1日(日) くまから洞 **MAPC**

ハッピーサンドウィッチ 1回目上映 12:00 2回目上映 15:00

ゲスト 大朝将嗣さん(エグゼクティブプロデューサー) 大朝正代さん(プロデューサー) / オンライン

11月15日(日) 練馬区役所 地下多目的会議室 **MAPA**

【久高島の記憶】10:00 沖縄久高島のイラブー ゲスト 岡田一男監督

13:00 【東陽一監督 追悼上映】**沖縄列島**

トークセッション ゲスト 山上徹二郎さん(シグロ代表、プロデューサー) ナビゲーター 永田浩三さん

16:00 **摩文仁 mabuni** トークセッション ゲスト 新田義貴監督 ナビゲーター 永田浩三さん

11月23日(月・休) 練馬区役所 地下多目的会議室 **MAPA**

【久高島の記憶】18:00 沖縄久高島のイザイホー ゲスト 岡田一男監督



ウナイ 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう

ドキュメンタリー 2025年 106分 監督:平良いずみ

10月12日(月・休)18:00
10月24日(土)18:00

沖縄県民45万人に供給する水道水に化学物質PFASが含まれていたことが判明しても、米軍は立ち入り調査を拒み続け、汚染源の特定すら出来ていない。しかし、米国や欧州ではPFASによる健康影響が確認され、規制の波が押し寄せる。絶望の涙を、ひとしずくの希望にかえて立つ女性(ウナイ)たちの姿を描く。



12日
中川七海さん
(Tansa記者)



24日
平良いずみ監督

【東盛あいか監督 特集上映】

ばちらぬん

17:30

劇映画 2022年 61分



与那国島の日常や祭事を取材したドキュメンタリーと花、果実、骨、儀式などをモチーフに幻想的に描かれる世界が交差しながら物語は進む。現実とフィクションはやがて溶け合い、島に紡がれてきた歴史、文化、人々の記憶がスクリーンに映し出される。日本の最西端、沖縄県と与那国島の言葉で「ばちらぬん」は「忘れない」という意味をもつ。島の生命力溢れる映像美、監督自身が演者となり、全編与那国語で話されることが大きな話題を呼んだ。ぴあフィルムフェスティバル2021のグランプリを獲得。

©AIKA HIGASHIMORI

我謝家に嫁いだ女たち

劇映画 2025年 18分



義母が亡くなって初めての清明祭(シーミー)の支度をしようと、夫の実家に集ったそれぞれルーツが異なる3人の女性たちによる会話劇。おしゃべりの中で、ルーツや秘密を紡ぐ。

©あてのない月桃

10月17日(土)

かでいんま

19:00

与那国町地域発信型映画 劇映画 2025年 25分



「かでいんま」は日本最西端の地、与那国島の言葉で「風の馬」という意味。亡き妻カヨの故郷である与那国で与那国馬を育てるタケシと、それを手伝う息子の潤寧(じゅんねい)。父のように馬と意思疎通ができないことに悩む潤寧が、あるできごとをきっかけに、幼いころに亡くなった母カヨの温もりに触れ、成長していく物語。失われつつある与那国の島言葉や文化を織り交ぜながら、与那国に生きる父子と馬の姿が優しく描く。

©沖縄県

101回目のポー玉

劇映画 2025年 7分



©あてのない月桃

どこか懐かしい風貌の沖縄ギャル3人組がボーク玉子おにぎりを頬張る夏の午後。リサが憧れの彼に告白する決意を固めたその時、シオリとハルコの前に謎のおじいさんが現れる。リサの告白の運命やいかに! ウチナーゆるギャルコメディ!



ナビゲーター
真喜屋力さん(沖縄アーカイブ研究所)

【首里劇場をめぐる物語】

10月18日(日)

17:30

琉球シネマパラダイス

ドキュメンタリー 2017年 25分 監督:長谷川亮



©チナスキー・プロダクション

1950年の創業以来、戦後の面影を残し愛されてきた劇場の日常を描く。時代の荒波のなか、愛するフィルムを手放してデジタル上映への移行を決意する3代目・金城館長に密着。劇場と映画への深い愛情、そしてノスタルジックな沖縄の空気を丁寧にすくい取っている。

首里劇場ノスタルジア

ドキュメンタリー 2022年 20分 監督:平良竜次

沖縄の戦後復興期に芝居や映画上映、地域行事の場として親しまれてきた首里劇場。コロナ禍の中で成人映画館から名画座へと生まれ変わるも、館主の急逝により存続の危機に。劇場が紡いだ貴重な記憶と記録を残そうと奔走する人々を追う。



©首里劇場調査団

18:30

劇場が終わるとき

ドキュメンタリー 2024年 90分 監督:真喜屋力

沖縄を代表する写真家・石川真生が、首里劇場の最後の日々をフィルムに焼き付ける姿を追う。金城館長の急逝によって閉館が決まり、解体を待つだけの静かな劇場。戦前の劇場様式を引き継ぐ首里劇場は、ゴシック建築の幽霊屋敷のような風格を持っていた。甥の金城裕太さんをはじめ、そこに集まる首里劇場に想いを寄せる人々を通して、劇場に染みついた人々の熱い記憶や気配が写し出される。



劇場の夢、館長の半生そして写真家の生き様が重なり、つづく

トークセッション

20:00

長谷川亮監督

平良竜次監督(オンライン)

真喜屋力監督



ハッピーサンドウィッチ

劇映画 2023年 93分 監督:岸本司

11月1日(日)

※入場の際に、チケットとワンドリンク代600円が必要です。

1回目上映

12:00

2回目上映

15:00



沖縄本島の北部・やんばる。料理人の満名匠吾は、ある日カミンチュ(神事を司る人)から「神様に捧げるサンドウィッチを作るように」と告げられる。神に捧げるにふさわしいサンドウィッチのヒントを求めて「食」や自然に関わる人々を訪ね歩くロードムービー。おいしいサンドイッチがとっても食べたくになります。

ゲスト

1回目、2回目とも／オンライン



大朝将嗣さん

OHTOMO MASASHI
(エグゼクティブプロデューサー)

大朝正代さん

OHTOMO MASAYO
(プロデューサー)／オンライン

【久高島の記憶】

沖縄久高島のイラブー

11月15日(日)

10:00

ドキュメンタリー 2024年 102分 監督:岡田一男 鈴木由紀



©東京シネマ新社、文化財映像研究会

久高島に伝わる海蛇イラブー漁。1978年に撮影された貴重な映像と、現在の島民への聞き取りを通して、女性たちが素手でイラブーを捕らえる姿や、燻製・調理の技術、神への供物としての意味を描く。海とともに生きてきた島の暮らし、信仰、共同体の記憶とその文化を未来へ継承することの意味を問い、久高島の知られざる文化に出会うことができる。

沖縄久高島のイザイホー

ドキュメンタリー 2022年 110分 監督:岡田一男

11月23日(月・休)

18:00

久高島で12年に一度、午年に行われてきた特別な祭り、イザイホー。1978年を最後に中断したイザイホーで、島の女性たちが神に仕える役目を受け継ぐ姿を、貴重な映像で記録したドキュメンタリー。今では見ることのできない古琉球の祭祀が、高精細映像で甦る。そこには、人と自然、人と共同体との関係を見つめ直す祭祀世界が映し出される。



15日・23日とも

ゲスト

岡田一男監督



©東京シネマ新社、文化財映像研究会

トークセッション

19:55

東盛あいか監督